

岩手県 安代りんどう知的財産権輸出協議会（りんどうをEUへ）

平成14年から安代町花き振興協議会が中心となり、八幡平市安代地区の農業の重要な基幹品目であるりんどうをオランダへ輸出。

さらに、南半球のニュージーランド、チリにおいて栽培面積を拡大し、日本からEUへの周年供給に取り組んでいる。

（出荷時期）

【輸出量】	日本⇒EU	平成23年：153千本	平成24年：107千本	平成25年：89千本	9～11月
	チリ⇒EU	平成23年：375千本	平成24年：366千本	平成25年：90千本	1～4月



【取組のポイント】

- ・ 地域に適した品種開発に取り組み、独自品種により外国産との差別化を図る。
- ・ 岩手県農業研究センターと協同で、前処理材の使用等、輸出のための鮮度保持技術を開発。輸送業者、航空会社、現地の通関代理店等の協力のもと、温度チェックシートの記入や迅速な通関などコールドチェーンを確立。
- ・ 輸送箱の改良や航空会社との交渉により、輸送コストを大幅に削減。

【取組の効果】

- ・ 国内出荷量の約4分の1を占める安代地区が輸出に取り組んだことにより、国内の需給調整が図られ、需要の端境期等における価格下落をやわらげる効果が見られた。
- ・ 自分たちが栽培したりんどうの品質について高い評価を受けたことを実感でき、生産者の生産意欲が向上。安代地区の農業人口・農家数は年々減少しているにもかかわらず、安代りんどうの生産者数は平成13年から維持。

【今後の展望】

- ・ チリで生産される安代りんどうの品質向上を図り、ブランド価値をさらに高める。
- ・ EUで高い評価が得られた品種の生産を拡大し、EUへの輸出量を伸ばす。

【活用したことのある国又はジェトロの事業等】 平成26年度輸出に取り組む事業者向け対策事業

【事業者の連絡先】 tel.0195-72-2111（内線3610） 事務局：八幡平市花き研究開発センター



オランダでセリに出される安代りんどう